



アウトソーシングと福祉を繋ぐ

win-win な仕組み

共同受注窓口 という

新しい選択肢

## ■共同受注窓口とは…

宝塚市内にある福祉事業所が共同で役務を受注する窓口のこと。発注メリットは、得意分野が異なる事業所が共同受注する為幅広い役務を発注することができ、大量の業務を複数の事業所で分担して担うことができる為、各事業所の受入能力に応じた仕事ができ、事業所にとっても有益な手段です。

## ■優先調達法と共同受注窓口の関係とは…

優先調達法が施行され各自治体において目標発注額を毎年掲げている、この共同受注窓口での成果はその目標額にもリンクします。

## ■共同受注窓口が必要な理由とは…

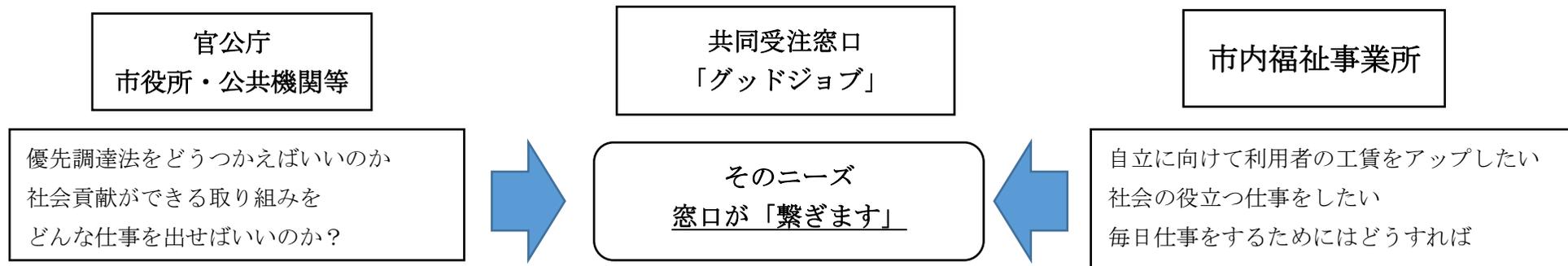
障害を持った利用者が自立や就労など目標をもって、障害福祉施設を利用しています。

現在、市内福祉事業所における一人あたりの月平均工賃額は、※8421円となっており、自立にはまだ難しい金額です。

※第1回共同受注窓口設置検討会アンケートより抜粋（B型・地活・自立等）

共同受注窓口の実現で受注数が増え、利用者へ還元する工賃の向上に繋がります。

## ■「アウトソーシングと福祉を繋ぐ win-win な仕組み」を提案



官公 庁等 **win**⇒優先調達法の実績が増える、仕事の効率化に繋がる

福祉事業所 **win**⇒社会貢献できる仕事ができる、利用者の工賃向上に繋がる

## ■優先調達法の使い方、どのような仕事をだせばいいのか、一緒に考えさせてください。